

第一回 大学院合同研究会へのおさそい

この研究会は、平成 23 年度第 6 回（通算第 42 回）山口国際文化化学研究会・平成 23 年度第 5 回健康福祉学研究会を兼ねています。

テーマ「しあわせ」

日時 2011 年 11 月 30 日（水曜日）16 時 10 分より

場所 D-15 教室（場所にご注意下さい）

発表者 健康福祉学研究科

田中マキ子教授（大学院長・健康福祉学研究科長）「しあわせな老い」
志村哲郎教授「人類で最も長生きな日本女性、長寿は幸せか？」
長坂祐二教授「健康は、人を幸せにするか？」

国際文化学研究科

鈴木隆泰教授（国際文化学研究科長）「しあわせって何だっけ」
川口喜治教授「文学の快樂 読む快樂、描かれた快樂」
進藤優子准教授「「しあわせ」を経済で考える」

主催 大学院国際文化化学研究科・健康福祉学研究科

概要

「しあわせ」とは何でしょうか。お金に困らないことでしょうか。健康や若さ、不老不死でしょうか。社会的な成功や名誉でしょうか。古来たくさんの人々が「しあわせ」について考え、語ってきました。しかし、「しあわせ」、そして対極にあるといわれる「ふしあわせ」について考え始めると、いずれもなかなか一筋縄ではとらえにくいものであることがわかります。何もかも失い体を壊しても、たった一つのことが分かるだけで「しあわせ」を感じずる人もいるからです。

今回山口県立大学大学院を構成する二つの研究科、国際文化学研究科と健康福祉学研究科は、その専攻領域を超えて、ともに「しあわせ」について考えてみようという試みを行います。実は、国際文化学研究科は、「幸せづくり」を掲げた研究科でもあります。医学、栄養学、社会福祉学、インド哲学仏教学、中国文学、経済学と多様な側面から「しあわせ」について語っていただきます。多角的に考え、横断的に語り、そしてともに探求することで、「しあわせ」についてより深い思索を深めることができると考えています。

皆様も、今回の合同研究会で「しあわせ」についてともに考えてみませんか。

終了後 18 時から Yucca で、第二部として自由なトークを展開できる場を準備しております（有料）。こちらも皆様の積極的なご参加をお願いいたします。